

高教研地学部夏季巡検報告書

岡村 典夫

1. 日 程 平成20年8月17日（日）～19日（火）
2. 場 所 富士山周辺
3. 参加人数 24名
4. 案内者 日本大学文理学部地球システム科学科 高橋 正樹教授
5. 詳しい内容

8／17・stop1 鳴沢道の駅にて貞観の噴火の際に噴出した溶岩流によってできた、「ティムラス」という地形を見学。

- ・ Stop 2 ジュラゴンノ溶岩膨張

貞観の噴火の際の溶岩地形。ガサガサのアア溶岩を採取した。

- ・ stop 3 西蝙蝠穴

貞観の噴火の際にできた溶岩チューブが西蝙蝠穴であり，中は気温が低く快適ではあるが天井の至る所に突起があつて危険であつた。チューブの中には溶岩が流れた後が非常によく見えた。

- ・ stop 4 精進湖付近の青木ヶ原の樹海

この付近は、「ラブリーアア溶岩」と呼ばれる，ごつごつとした溶岩で大変に歩きにくい。自殺の名所らしく，自転車が乗り捨ててあったり，木にネクタイが結んであったりとちょっと不気味であつた。

- ・ stop 5 本栖湖

本栖湖の湖岸にて，貞観の噴火の際の溶岩流を見学。溶岩が膨張し割れ目ができている様子や，縞状構造がよく見えた。



宿舎到着後は，高橋教授による勉強会が催され大変に充実した1日であつた。

8／18

- ・ stop 6 白糸の滝

古富士から流れ下った泥流堆積物の上に，新富士の溶岩流が載った地形がよく見えた。そして，溶岩流の下部から水が噴き出す様子を確認できた。



・ stop 7 奇岩博物館

最初、その名称を聞いて、全く期待していなかったが、決して広くはないが工夫された展示で本当に楽しめた。野外にも展示物が多くあり、橄欖岩が入ったサンプルをいただいた。

・ stop 8 裾野市立富士山資料博物館見学

改修直前の博物館で古い感じが否めない



が、木を溶岩が覆い完全燃焼して、そこが空洞となり、再び溶岩が入り込んだ立派な溶岩樹形が展示されていた。

・ stop10 太郎坊

富士山の新5合目から 200m ほど上がったところにある「太郎坊」にて、宝永火口からの火砕堆積物を観察。露頭の最上部に厚くスコリアが堆積している様子が観察できた。ここで、宝永噴火の際にスコリアと一緒に放出されたはんれい岩を探したが、小さなものしか採ることができなかった。



宿舎到着し、夕食後高橋教授による講義。富士山の歴史に関して詳しく解説して頂いた。解説のパワーポイントを頂くことができたので、先日授業で活用した。

8 / 19

・ stop11 宝永火口見学

5合目から約1時間かけて溶岩流の様子やスコリアの様子を観察しながら宝永火口へ行き、高橋教授の話を聞いた。溶岩のサンプルや、昨日採取できなかったはんれい岩を採取することができた。はんれい岩には肉眼で確認できるほど大きなカンラン石入っており、双眼実体顕微鏡で生徒に観察させている。



・ stop12

貞観の噴火の際に大量に放出された溶岩によって、樹木が取り込まれてできた数多くの溶岩樹形を観察することができた。

